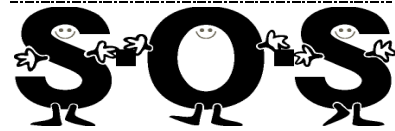


◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



vol. 160通信
H25年12月9日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

☆ナイス・ケア

12/31~1/2 休業

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

12/31~1/2 休業

日	月	火	水	木	金	土
5	6	8	6	6	7	7

☆ナイス・ホーム(登録者 15名/定員 21名)

365日営業

☆愛宕の家(入居者 15名/定員 17名)

365日営業

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ ☆打太鼓

12/31~1/2 休業

≪12月予定≫

- 7日誕生日会(14:00~)
- 10日外食デイ
- 20日避難訓練
- 24日クリスマス会(10:30~)
- 28日お餅つき
- 31日大晦日

不定期行事

その日の天気や意欲等で状況判断して、外出先一覧を参考に社会生活参加します

子育てと仕事のバランス/ナイス・キッズ

年長さんからキッズを利用してもらっている長男も、はや10歳。おとし授かった待望の次男は2歳になった。産休を利用し、復帰して1年半、常勤として働いた。が、自分や子どもの体調不良が重なり、休みがちの日々が続いた。他のスタッフに迷惑を掛けている事は分かっていた。でもこの仕事は続けたい。そんな風に考えていた時、『しばらくの間だけでも自分と家族と向き合いながら、ゆとりのある働き方をすれば良いじゃない?』と声をかけてもらい、パートとして勤務する事になった。それを機にキッズ利用をどうしようか迷った。しかし、臨機応変に対応してくれるキッズを利用する事で、自分の体調を整えて、仕事にも家族にもしっかり向き合う時間をつくろうと思った。

深呼吸をして / ナイス・ケア

今までいろいろなお宅に訪問させて頂いた。中でもMさんは特に細心の気配りを必要とするお宅だ。とは言っても、楽天家の私にとって、自分なりに頑張っている気配りをしている、Mさんの想いにはなかなか届かず、「あなたにはやさしさがあるけど気配りが足りないのよね」と言われてしまう。調理の際も、Mさんの味付けがなかなか覚えられず、薄かったり濃かったりで何度も何度も注意を受けた。「あなたの家族は何にも言わないの?」と言われてしまう始末。情けなかった。味を確認してもらいながらサービスを続けていたある日、『かぼちゃの煮物がおいしかった』と言われて嬉しかった。訪問時、玄関をあける前にいつも大きく深呼吸をして気持ちを引き締めて入室する。Mさん宅に限らず、安心してサービスを受けてもらえるよう気を引き締めて仕事に臨みたい。(H・A)

満たされない想い/愛宕の家

平穏に見える愛宕ですが、日々何かあります。身体的な不調は多くてあたりまえ。ここは介護施設なのだから…。が、最近特に思う事は精神面について。1日動き回っていてフツと感じる入居者さんの視線…。

何か言いたそう。何か訴えているのでは?と思いつつも自分の今している事を優先してしまう。後で考えてみるとコミュニケーション不足では?と思う時がある。『全体の一人ではなく、個としての一人として関わってほしい…』その満たされない思いが、無言の訴えとなり、そして怒りや大声で表現されるのではないかと日常的な業務も確かに大事。でも、利用者さんが『今だよ』というサインを送ってくれているときに、適切に対応できる事が安心して過ごせる事に繋がるんだと心に思いながら、日々過ごしています。(N・S)



身体と心/ナイス・ホーム

脳梗塞のため、左半身が思うように動かないNさん。自分の体が思う様に動かない事や痛みなどからの苛立ちを日ごと家族にぶつけてしまいます。そんなある日、通いの送迎時、「悲しい」と家族がスタッフに涙をみせられました。

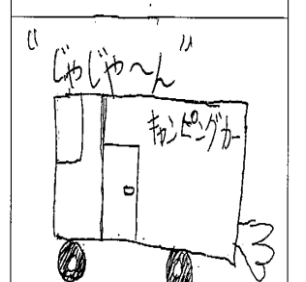
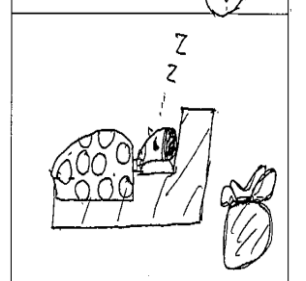
スタッフはNさんとじっくり話をしました

『Nさん自身、家族に当たってしまう事は悪いと思っている。いつも身の回りの事の世話をしてくれている家族に感謝もしている。しかし、プライドが邪魔をし素直に「ごめん」「ありがとう」が言えない。』

そんなNさんの気持ちをスタッフはどう受け止め対応したらいいのか…と考え中のさなか…。ある日、Nさんが「ありがとなつ」と家族に言われました。家族もスタッフもビックリで嬉しくて…。

身体が思うように動かない苛立ちはこれからも続くと思う。でも、気持ちの当たり所をスタッフが受けられるようにならなくちゃと思う(S・A)

小学2~4年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を大人が選び、掲載します



『まだやるの~?』 / ナイス・デイ

今日も楽しい苦しい?体操の時間がやってきた。誰もが何もしないで、いつまでも元気な体が保たれればそれに越したことはないが、そうはいかない。使わなければどんどん機能が低下してしまう。

現在ナイス・デイにみえる利用者さんで誰の手も借りずに一人で歩ける人は全体の半分以下。そこで下肢の運動が重要となっていくが、なかなか取り入れにくい。

座ってでも出来る下肢の運動をゲーム等にも取り入れ、あの手この手で体操がマンネリ化しないようスタッフも日々努力!!理想は「楽しいゲームをしているつもりが実は足の運動をしちゃった」という感じ…。

理学療法士のリハビリに加え、今後も下肢運動にポイントを定め、利用者さんに毎日運動を通して健康維持、筋力アップを実感できるように計画を練りますよ! (M・O)



歩行介助の考え方/理学療法士

最近歩行能力が著名に低下しているNさん。一番の問題は自分の体の重心位置を自分で正しい位置に戻せない事。

上手く歩くためには、上手く立てないといけない。足が前に出ない時は、無理して歩かずに立位姿勢を修正するところから始める。まっすぐに立てた時はすっと足が出る。まっすぐに立つためには、まっすぐに立ち上がらなければならない。身体をねじったままで立ち上がってしまうと立位の姿勢も歪んでしまい、最初の一步が出なくなる。まっすぐに立ち上がるということは、まっすぐに座位姿勢が必要。できない動作がある場合、そのひとつ前の姿勢を考える必要がある。こちらの誘導の仕方一つでいろんなことが変わってくる。

難しいが面白い。(U・I)

介護と看護~多種職連携/看護師(先月よりつづく)

「こんな簡単なことも正確に伝わっていないし、伝えられなかった。受け取ってもらえるだけの説明能力に欠けていた」ということを自分が自覚することがスタートだと思う。そして、自分が説明を受け、理解できない場合は、理解できないと伝えたい。周りを見ていると、以外にその一言が難しいようだ。

と、冷静に思うのだが、夫婦となるとそう上手くはいかない。こんなことも分らんのか!とってしまう(笑)。最近の子育ての価値観のズレ?があるようで、私が仕事していることは子供や家庭を犠牲にしているのだと夫は言う。私が「仕事は自分のためにも子供の為にも夫の為にもなっている。」と伝えても『子供のためになってないと自覚しろ!』と言っていた。

大いなる価値観のズレ。ふふふ…。素晴らしいじゃないか、お互い育った環境は全く違うんだ。その中でどんな子育てをできるか歩み寄ろうじゃないか。二人の子供はそんな言い合いをしている時も、笑顔です。たくましい♪母ちゃん、頑張るね。(M・T)

編集後記

今年も残りわずかとなりました。年々あつという間に12月を迎えているような気がします。今年を振り返ると一番のビックニュースは何だったのでしょうか?東京オリンピック開催決定?消費税引き上げ?何にせよ、無事に1年過ごせた事に感謝。来年も笑顔で迎えられるよう元気でいきましょう!(Y・O)